

日本女性会議2013あなん参加レポート

報告者 鬼塚 春光さん（雑餉隈町）



学んだ内容のまとめ

分科会においては、阿南地域で活躍しているそれぞれの団体の活動の状況が紹介された。個々の地域興しや自己を高める自主的活動には、私個人の活動に照らし大変興味深く参考にはなったが、本研修の主題である「男女共同参画」という視点からは、いまいち消化不良の感は否めなかった。

また、分科会にしては約200名と多く、呼びかけにあったような「参加する」というのには程遠い感があった。

記念シンポジウムは、多くの同種の会議等に参加、傍聴してきたが、近年にない、とても質の高い、内容の濃いものが多いシンポジウムであった。パネリストは、それぞれがいずれも若いのに、多くの経験、実績を持ち、教わるが多かったし、問題提起もしてくれた。

記念講演は、恥ずかしながら私自身よく知らない講師であったが、とても有名で、マスコミにもよく登場してある著名な方だそうで、話の内容は抜群に面白く、また押し付けがましくなく、しかし、しっかりと男女共同参画を説く、とても勉強になるお話で感服させられた。

参加の感想と今後について

いずれのプログラム、特に記念講演や記念シンポジウムは必ずまた、報告書を読み返したくなる内容であった。このように充実した会議、研修に参加させてもらったことに感謝している。

なお、蛇足であるが、圧巻は①阿南市の実に多くのボランティアの人達のお手伝いや、その方々による交流会における全ての料理の手作り等に見られる、手厚い「お持てなし」、②随所に見せてくれた「阿波踊り」の壮観さ、③徳島県知事の弁舌爽やかな挨拶・・・であった。心に残る研修（会議というより、あきらかに研修）だった。

私の応募の動機である「地域の自治会活動における女性の参加（登用）の先進事例を全国に学びたい。」は、そのような場がなかった事や後述の理由により、残念ながら果たすことができなかったが、それ以上に得たものは大きかった。

今後も、上記目的を追求するために機会があれば、また参加してみたい。ひとつ、反省点は、せっかく本市からも女性の参加者がおられたので、その方たちを通してでも、私の参加の主題について全国の参加者にお話を伺う機会を作りたかった。交流会等で、一人で圧倒的に多い女性の参加者に話しかける勇気がなかった。